



関 中 学 校 だ よ り

第 4 号 平成 23 年 9 月 27 日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

勿 体 無 い

校長 勝亦章行

9 月・10 月 行事予定

「勿体無い」どう読むのでしょうか？・・・

「勿体無い」とは、「もったいない」と読みます。「もったいない」という表現は、他の国の言葉に訳せないそうです。日本独自の言葉といってもいいようです。そこで外国では、「もったいない」を「MOTTAINAI」と表現しています。国際的にも認知されている「もったいない」という言葉。この「MOTTAINAI」を国際的に広げたのは、ケニアのノーベル平和賞受賞者、ワンガリ・マータイさんです。残念ながら昨日 9 月 26 日、病気のため亡くなりました。世界に向けて「MOTTAINAI（もったいない）」を発信し、環境保護を推し進めたマータイさん。

国際的にも認知されているこの「もったいない」という言葉ですが、それは、「もったいない運動」というように私たちの生活においてもいろいろな動きがあります。

ところで、「勿体無い・もったいない」の意味は何でしょうか。大辞林で調べてみると以下の通りです。

「勿体」→外見や態度の重々しさ。態度や風格。また、物の品位。

「勿体無い」→

(1) (有用な人間や物事が) 粗末に扱われて惜しい。有効に生かされず残念だ。

- 例・まだ使えるのに捨ててしまうとは、勿体無い。
- ・あんな有能な人物を放っておくのは、勿体無い。
- ・こんな事をしていては時間が、勿体無い。

(2) (神聖なものが) おかされて恐れ多い。忌むべきだ。

例・神前をけがすとは、勿体無い。

(3) (目上の人々の好意が) 分に過ぎて恐縮だ。かたじけない。

例・御心づかい、勿体無く存じます。

(4) (あるべき状態からはずれて) 不都合だ。不届きだ。

私たちがよく使う「もったいない」という表現は、上記の (1) の「粗末に扱われて惜しい。有効に生かされず残念だ」です。上記の (2) (3) (4) については、あまり使ってはいないと思います。

今年、福島第一原子力発電所の事故により計画停電、そして節電対策が 7 月 1 日から 9 月上旬まで求められました。何となく使っていた電気。しかしエネルギーは有限であり、電力もその一つです。「もったいない」という感覚は、これからの私たちの生活を考えても、とても大事な感覚、感性ではないでしょうか。

「たくさんあるから、じゃんじゃん使ってい。たくさんあるから惜しみ無く使ってい。」というのではなく、限られた資源（石油、天然ガス、真水、きれいな空気等）そのものの存在を「ありがたい」と受け止め、大事に使うという感覚、感性がなければいけないと思います。

こうした考え方は、昔の日本人は、みんなもっていたのではないのでしょうか。こうした考え方ができる日本。その考え方が今では「MOTTAINAI」という国際語になっています。もう一度「勿体無い」ということの本来の意味を考え、受け止め、各自の行動に移してほしいと思います。

日	曜	予定
2	金	避難拠点訓練 生徒会役員立候補者受付締切日
5	月	子ども安全連絡網説明会、2年芸団協授業
7	水	第1回新入生保護者説明・部活動見学会、芸団協授業
9	金	1年校外学習 SC来校
12	月	生徒会朝礼、芸団協授業、心のふれあい相談員来校
14	水	芸団協授業 職員会議
16	金	SC来校
19	月	敬老の日(祭日)
20	火	期末考査(1日目)
21	水	期末考査(2日目)
22	木	期末考査(最終日)
23	金	秋分の日(祭日)
26	月	区陸上競技大会 心のふれあい相談員来校
27	火	生徒会役員選挙活動始、PTA本部会
29	木	生徒会各種委員会
30	金	生徒会中央委員会 PTA運営委員会 SC来校
10 月		
1	土	都民の日
3	月	全校朝礼、学校公開始 心のふれあい相談員来校
4	火	情報モラル講習会 保護者会
5	水	生徒会役員選挙立 会演説会 職員会議
6	木	生徒会役員選挙投票・開票、連合音楽会
7	金	学校公開終
14	金	1学期終業式

★節電対策 目標の18%をクリアしました。

エアコンの設定温度は、28℃。無駄な電気は使わない。不必要な電気を使わない。廊下や階段等の電灯も最小限での使用にする。節電ポスター、こまめにスイッチを切りましょうポスターの掲示などの取り組みの結果、目標の18%をクリアしました。電気使用量の前年度比と比較です。

	5月	6月	7月	8月
平成23年度	13,219	14,395	18,482	14,930 Kwh
平成22年度	15,444	17,522	25,860	20,863 Kwh
増減率	-16.8%	-21.7%	-28.5%	-28.4%

★「CO₂削減アクション月間」における「環境教育優良校」に関中学校が選ばれました。

東京都教育委員会では、児童・生徒の地球温暖化防止への意識と環境に配慮した行動を実践する意欲を高めることをねらいとして、「CO₂削減 アクション月間」を実施し、全都の小学校5年生と中学校1年生を中心として、各家庭で7日間チェックシートを活用し、CO₂削減に向けた取組を行いました。その結果、練馬区では、大泉学園小学校と関中学校が環境教育優良校に選ばれました。節電対策への取組もよい結果につながったと思います。

★2年生も参加して、避難拠点訓練を9月2日に実施しました。

練馬区では「避難所」と「防災拠点」の機能を合わせ「避難拠点」として位置づけ、区内小中学校を指定しています。関中も避難拠点の一つです。その訓練に関中では、2年生が参加しています。いざ災害が発生したときに、中学生は、地域の大きな力になるはずですが、訓練を通して実践的に学び、避難所の協力者としての資質や能力を身に付けるよい機会となりました。

1. 実施日 平成23年9月2日(金) 午後1時～午後5時
2. 協力者 関町北4・5丁目町会役員、武蔵関駅北口商店街、区避難拠点要員、区防災課・本校サポーター、PTA
3. 訓練内容 ①普通救命講習(2年生22人参加) ②炊飯訓練 ③発電機・ろ過器訓練
④起震車体験 ④仮設トイレ設営 ⑤通信訓練 ⑥備蓄倉庫 ⑦大震災DVD

★東京消防庁より「救急の日(9月9日)」に伴い「感謝状」をいただきました。

毎年行われる避難拠点訓練では、関町北4・5丁目町会のご支援を受けて費用を負担していただき、2年生が最大40人まで普通救命訓練に参加しています。そして、心肺蘇生法、止血、AED操作などを実践的に学んでいます。そうした取組が評価されて、感謝状を受けることになりました。感謝状には、「多年にわたり救急行政に深い関心と理解を示され、その推進に積極的に協力されるなど救急業務の充実発展に多大な貢献をされました。救急の日にあたり深く感謝の意を表します。」とあります。

★1年校外学習「練馬を知る」(9月9日)実施される。

1年生としては初めての校外学習が行われました。各班ごとにテーマを定めて実際に見て、聞いて、体験してテーマに迫りました。テーマは次のようなものがあります。

地下鉄、楽器、アニメーション、水道、ゴミ、遺跡、ガス、美術館、商業、下水道、農業、石神井城、白子川等

実際に実地見分した場所は、

大江戸線(交通局高松庁舎)、ちひろ美術館、練馬美術館、武蔵野音大博物館、ふるさと文化館、東京都水道局、東映アニメ、練馬区資源循環センター、光が丘清掃工場、落水水再生センター、石神井ファーマーズセンター、農家、下野谷遺跡、石神井城跡、西原郷土資料館、東京ガス谷原ガスタンク、光が丘温室植物園、ゆめありライフ、東大泉商店街、武蔵関駅前商店街、武蔵関駅北口商店街、牧野庭園、

「灯台下暗し」という言葉がありますが、練馬区に住みながら練馬区のことを十分に知っているとは言えません。「練馬を知る」とは、我が郷土への理解、郷土愛にもつながっていくと思います。

★第49回 練馬区中学校生徒総合体育大会(陸上競技大会)が、9月26日に開催されました。

国立競技場で区陸上競技大会が行われ、本校からも、男子16人、女子12人が参加。午後から小雨が降るという日でしたが、学校代表として全力で頑張りました。

★区立中学校における空間放射線の簡易測定結果

区内34校で校庭・砂場について測定した結果、全ての中学校で基準値内(0.24マイクロシーベルト/時)でした。関中は、9月13日に測定し、0.12~0.14マイクロシーベルト/時でした。